

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社マイスター

寒河江市にある株式会社マイスターの若手社員、成澤信哉さん取材しました！
成澤さんは、東京電機大学工学部を卒業後、2017年に入社しました。
現在は、生産管理部で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

当社が製造するものは精密部品と切削工具という二つの部門に分かれています。私は特に精密部品を担当していて、これは他の企業で使われる部品になります。5軸マシニングセンタを使って加工します。



——5軸マシニングセンタについて教えてください。文系でイメージがわからないので……。

5軸マシニングセンタというのは、簡単に説明すると、刃物を使って金属を加工するための機械ですね。普通使われるのは3軸の機械で、軸はXとYとZ。これだと、加工したいモノを下の台に固定すると、上からの加工しかできないんです。加工したいところに合わせてそのつどモノを付け替えないといけないので、段取り回数が増えてしまうんですね。

ですが5軸に関しては、下を固定した後にモノが回転するので、複雑な形状もそうですけども、単純形状でもより少ない段取りで加工できます。

例えば、この部分(王冠の溝のあたり)のように難しい加工もできたりします。



——やはり、5軸を使いこなすには熟練が必要なんですか。

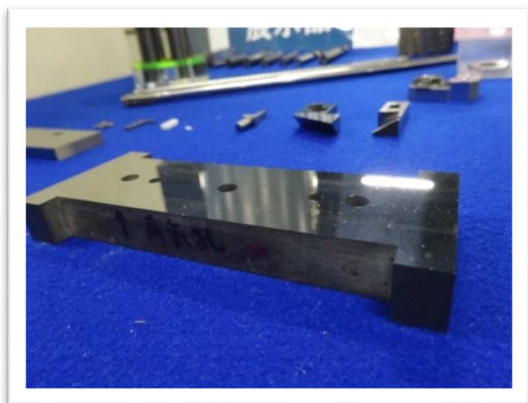
3軸よりも熟練が必要かといわれると、そうでもないですね。やっぱり5軸っていうと軸が増えるので、みんな難しく考えてしまうんですけども、毎回モノを付け替えていたものを一発でできるというだけなので、そこまで難しく考える必要はないと思います。3軸を勉強するのと同じくらいだと思います。



——現在のお仕事をしていく中で、壁に当たったことはありますか。

当社は他社よりも小さいものを作るのが得意という認識がありますが、最近、0.04 mm の本当に薄い板状の突起を加工するという仕事がありました。そういう加工は通常研削にするところを、切削でやることになったのですが、今までの感覚でやると簡単に折れてしまって加工できないことがありました。それで色々やり方を試しながらやって、2日ぐらいかけて完成させたというのがちょっと苦労しましたね。

——仕事のやりがいは何ですか。



私の場合、製造部ではなく、生産管理部のほうに所属しています。ですので、機械を動かすだけではなく、加工工程を組んで、それに必要な材料を頼んで、後は自分で実際に加工するという一連の流れをすべてやっています。ただ作業するだけじゃないことは、すごくやりがいがありますね。

先ほどの0.04mmの薄さのものを加工する仕事は、以前には誰もやったことがないものでしたが、そういう新しいやり方を私が実際に試してやってみて、「これだったらいける」ということを、現場に伝えるのがメインの仕事です。

——業務に関連して取得した資格に、技能検定(数値制御フライス盤)2級とありますが、これは仕事をするために必須の資格ですか。

いえ、基本的に当社の機械は、資格がないと動かしてはいけないというようなものはないです。私は工学部出身ですが、一応機械は大学で実験程度に少し触ったくらいで、ほとんど機械のことは知らなかったんです。会社に入ってマシニングセンタを使うようになってきたので、資格を取りました。

資格をとるための勉強は業務内にもしていますし、後は定時以降の時間にちょっと機械を使わせてもらって勉強しました。

——成澤さんからみて、マイスターのすごいところはどこだと思いますか。

新しい注文が入ったときに、今までやったことがないような形状の製品もいくつかあるわけですが、当社は技術者の集団なので、そういった時にいろいろな部署の人たちが集まってきて「ここはこう加工をすればいいんじゃないか」とか「いや、多分こっちでやった方が加工精度としてはいいんじゃないか」というのが始まります。

それぞれの部署のすごくできる人たちが集まって、今までにないものを作り上げていくというのは、この会社の一番の強みなんじゃないかなと思います。



(2) 職場編

——どうしてマイスターに入社したのか教えてください。

私としては今後ずっと仕事を続けていく中で、同じことをずっとひたすらやるよりは、新しいことをどんどんやっていきたいという気持ちがあって、そういった会社を探していたんですよ。

山形でそういう会社を探していたときに、マイスターが単品加工をしていて、部署もいろいろあって、いろんなことに挑戦ができるというふうに話を聞きました。それで実際に会社見学して、総務の五十嵐部長に話を聞いて、「この会社だったらどんどん新しいことに挑戦させてもらえるんだな」と思って決めました。



——実際に入ってみてイメージ通りでしたか。

入ってみたらやっぱり違った、ということはよく聞きますが(笑)。私の場合は、四大卒で入社したこともあり、設計や開発を最終的に担当する方向で入ったんですが、最初はやっぱり現場をまず知らないとだめだということで、製造部で現場の作業を経験させていただきました。

その後、生産管理部に移って新しいことをやっていたんですが、本当につい2週間くらい前から、今度はワイヤー放電加工という別の部門のほうもやることになりまして。ですので、本当に飽きないですね(笑)。いろんなことができるので。

——入社して良かったことはありますか。

職場の人間関係は結構大事だと思います。入社してすぐの頃は、理系出身といえども知らないことがあまりにも多いですよ。先輩に意見しても、「新入りがわけのわからないことを言ってるな」と思われるのが普通だと思います。ですが、当社では新入社員の意見をちゃんと受け止めて返してくれる、ちゃんと意見を言い合えるような関係を持てる会社だったので、そこがとても良いと思いました。

——先輩と意見を言い合えるのはいいですね。具体的なエピソードがあれば教えていただきたいです。

入社して1年たった頃から、先輩が1日の作業の流れを決めるときに、私が「これをこうした方がいいんじゃないか」という意見を毎回出すんです。先輩は「それでいいと思うなら、まずやってみよう」と言ってくれるんですね。それでうまくいけばいいんですが、やってみたらやっぱり先輩のやり方のほうが良かったということが結構あります。

そこでまた先輩に意見を言っても、先輩が「ああ!?(怒)」というふうにはならないのでいいです(笑)。



——1年目で先輩に意見というのはなかなかできないと思うので、良い人間関係があるんだなあということが伝わりました。仕事以外のところでも社員のつながりがあるんですか。

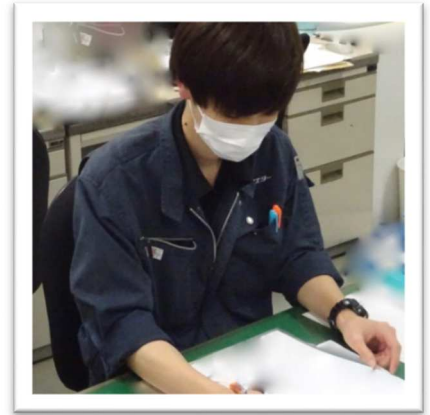
そうですね。新入社員歓迎会、夏はビアパーティー、秋には芋煮とかボウリング、そして忘年会とかいろいろあります。家庭の事情や体調などで出られない人もいますが、みんなそういう機会を楽しみにしていることもあり、基本的にみんな参加していますね。



(3) ある日の過ごし方編

●8:10【出社・夜間加工品の検査】

出社後に機械の電源をつけて、スケジュールを確認します。機械で夜間加工したものを検査して、問題がなければ日中に加工する段取りをして機械を稼働させます。



●10:15【受注管理】

注文で入った図面の加工工程を組み、作業指示書と材料を製造部に流します。



●12:15【お昼休憩】

社員食堂で、同期と談笑しながら食べます。

●13:00【CAD/CAMの作成】

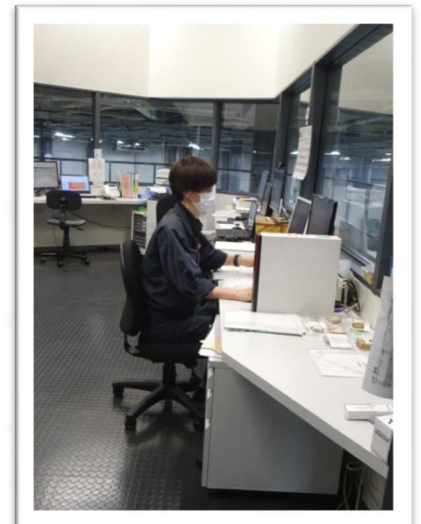
受注した製品をマシニングセンタで加工するためのプログラムを作ります。

●16:00【夜間加工の準備】

夜間加工の準備をします。基本的に加工時間の長いものを夜間で加工します。場合によっては夜間加工段取り後、48時間稼働し続ける場合もあります。

●16:50【翌日の準備】

翌日のスケジュールを組み、タスク量を確認します。



●17:10【退勤】

家に帰った後は、漫画やYouTubeをみて、リラックスしています。

(4) むらやまでの暮らし編

——大学進学で東京に一度出てUターンしたそうですが、その理由はなんですか。

もともと東京に行った理由は、やっぱり都会に対する憧れというのがあるじゃないですか(笑)。都会に行って、大学で4年間勉強もしましたし、いろいろサークル活動とか遊びもしました。

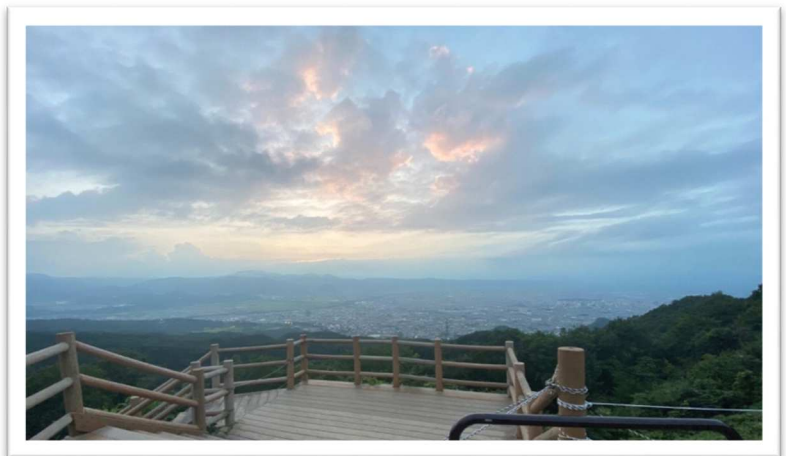
そうやって過ごしているなかで長期休みのときに実家に帰ると、都会のせかせかしているというか、急いでいるような環境よりも、田舎ののんびりとした空気感のほうがやっぱり自分に合っているなと思ったので、こちらで就職しました。

——村山地域で、暮らして良かったなって思うことってありますか。

村山地域というか、山形県というくくりで考えていますね。私の地元は米沢なんですが、東京から山形に帰ろうと思った時に、そこまで「米沢」っていう意識はなくて、山形県ならどこにいても実家にすぐ帰れると思っていました。何かあったときにすぐ駆けつけたりできるので、そういった面ではいいのかなと思いますね。東京だと結局やっぱり行けないことも多いので。

——休日の過ごし方はどういうふうにされているんですか。

今はコロナの影響であまり行けていませんが、少し前だったら、カフェに行ったりとか、あとはドライブに行ったりとかですね。ドライブでちょっと山の方に行って夕日みたりとかっていうことをしてますね。



——お気に入りのカフェはあるんですか。

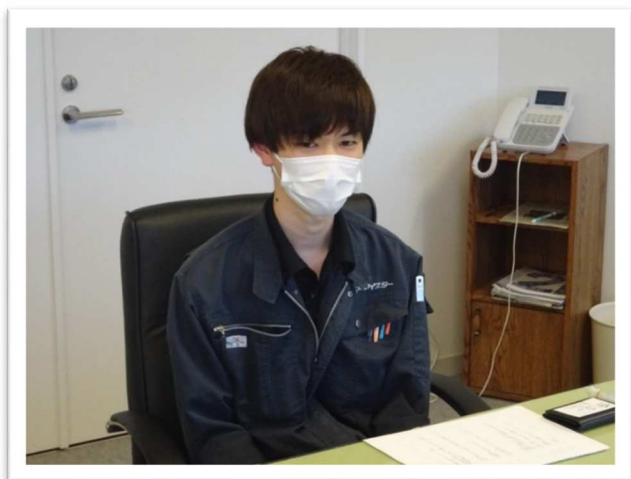
上山に「あべくん珈琲」という喫茶店があって、小洒落た感じのところなので気に入っています。

あと、同じ上山市で「山形プリン」というところがあって、私も上山に住むまで全然知らなかったんですが、すごく美味しくて。そこで1日20食限定でしかも賞味期限が10分！という「生プリン」があって、まだ1回ぐらいしか行ってないんですが、特別なときに行きたいと思っています。



(5) まとめ編

——今後、お仕事を続けていくうえで目標はありますか。



私のいる部署は生産管理部で、その部署は本来、製造のことをすべて把握していないとできないような部署です。私は実際、現場で作業者として経験したのがマシニングセンターのみで、今はワイヤー放電加工をやっているところです。それ以外も知識としては知っていますが、実際の技術はまだ身につけていないので、実際に現場に入って技術を身につけたいと思っています。

何でもできる「オールラウンダー」になりたいと私は思っているので。

——他の社員もオールラウンダーのような感じなんですか。

当社の方針としては、一人が一つの作業をずっと担当するよりは、何年かで入れ替わりをして、どんどん新しいことに挑戦してもらおうというスタンスです。会社にいる年数が長い人ほどいろんなグループを経験しているので、すごく経験豊富な人がたくさんいますね。

——私たちは3年生でこれから就職活動を進めていくのですが、就職に向けてアドバイスがあれば教えてください。



社会人になると、学ぶことがとても多いんですね。学生の時もそうだと思いますけど、それ以上にもずっと学ぶことが多くて、経験することもたくさんあると思います。仕事は楽しい面もあれば、なかなか自分でやっても上手くいかなくて難しいとか大変という面もたくさんあると思いますが、そういった時にめげずにどんどん挑戦していけば、自分の自信にもつながりますし、達成感その分とても大きいです。

いろいろなことに対して、学ぶ心やチャレンジ精神を大切にしてほしいと思います。

——実際の就職活動では、いろいろな会社に行ったりしていたんですか。

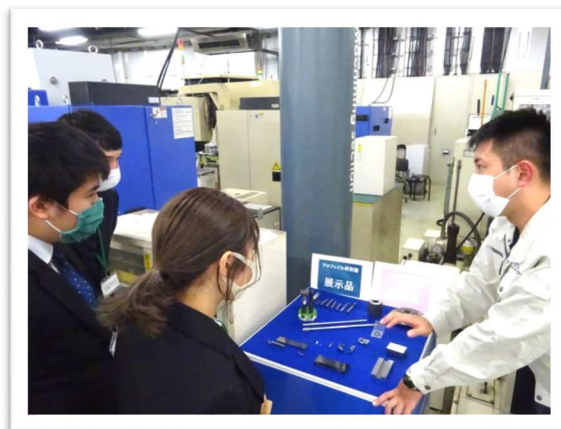
そうですね。私は山形のほうで実際に試験を受けたのは当社のみなんですが、東京でも20社ほどは受けていました。就職活動をするうえで第一志望は人それぞれあると思いますが、たとえ会社見学だけだとしてもいろいろな会社を見ることが、今考えるとすごく大切なことだったのかなと思います。

就活の機会を使ってできる限り多くの会社を見たほうが、社会ってこういうふうになるんだという、輪郭のようなものが見えてくると思います。業種を絞るのもいいんですが、いろんな会社を見て、世の中にこういう会社があるんだな、山形県にこういう会社があるんだなっていうのを感じておくのもありかなとは思っています。

———ありがとうございました！

取材と工場見学の中で、社員の方々の関係性の良さが強く伝わってきました！また、成澤さんの新しいことへ挑戦したいという意欲と、会社の社風がとても合っていると感じました。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 草木啓汰・小野誠司・長沼莉保】



株式会社マイスター

【どんな状況下であっても、必要とされる中小企業！】

オンリーワンのB to Bのもの造り企業！

当社の作る道具が無ければ飛ばないジェット機があります。当社の作る道具が無ければ走れない車があります、スマートフォンも作れないかもしれません。そんなもの造り企業を見て下さい。

★はばたく中小企業300社、地域未来牽引企業、健康経営優良法人2020等

- ・所在地 山形県寒河江市中央工業団地156番地1
- ・設立 昭和55年7月
- ・従業員数 81名（男性58名、女性23名）
- ・URL <http://ymeister.co.jp>

